

医学医療情報学講座教育・研究組織に関する提言

1. 講座のあり方と方向性

医学医療情報学講座は医学医療情報学に関する教育と高度な専門的業務を行い、医師の養成に貢献するとともに、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、関連する研究を推進することが求められる。

2. 診療

附属病院の医療情報部における病院情報管理システムの企画・開発及び円滑な管理運用を図り、医療DXの推進、サイバーセキュリティ対策の強化、さらには利用者の教育などを通して、高度医療のための基盤と医療安全の確保に貢献することが求められる。また、附属病院のがん・ゲノム診療等に関連して、登録業務を積極的に支援することが求められる。

3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に携わることが求められる。特に、医療情報学教育や病院管理学教育においては中心的役割を果たすことが求められる。

4. 研究

上記の診療・教育に関連した研究、特に病院管理学、経営分析、医療安全などに関する研究を推進していくことが求められる。また、大学院生の学位指導や弘前大学の産学連携における研究などを積極的に推し進めることも求められる。

5. 社会活動

地域における医療提供体制の改善に向け、情報通信技術等を活用した遠隔医療を推進し、地域のがん登録事業や医療機関の情報ネットワーク構築などに関する助言、協力、調整などを通して、地域へ貢献することが求められる。

6. その他

医学医療情報学講座の構成員として第一に求められるものは、医療情報管理システムに関する知識と管理能力である。特に、教授には、先進医療施設としての役割を担う附属病院において高度医療推進の一端を担い、各講座・診療科の機能充実を果たすことのできる診療業務に精通した人物が求められる。

医学医療情報学講座教育・研究組織提言委員会

石橋恭之（委員長）、袴田健一（副委員長）、三上達也
玉田嘉紀、櫻庭裕丈、富田泰史、掛田伸吾、大徳和之